

Akira Teijo
c/o Mrs. R. Katamoto
1916 16th Ave. S.
Seattle 44, Wash. U. S. A.



Mr. John E. Tonomura
c/o Mr. S. Nishizama
255 Powell St
Vancouver, B.C.
Canada

本年四月二信、昨日受取りました。相手ナチヤ族の結構です。

次から次の便りにあります。

昨日金曜日、スケートボートにて歸事と申しましたが、自下を
日目、今後もどうぞおねがひ下さい。朝五時おは起好み
ります。朝の仕事も済ませて、学校に向うのが時過ぎ
一時回すには授業を終えて帰宅の時半頃、直ぐに就用に入ります
けです。椅子に腰掛けながら、夜の食時で手を位に切りつけ
ます。終れば八時はすくすく、足り裏がやきくと痛
人で床の上に力が入らず、思う様に書けないが、高齢故、
机を……

場所はかり、氣持の良い所です、近頃公
園もあります。このま、当家に居る所は、春頃には必ず屋外拜
の良い散歩で出来ようと思ひます。

日曜日に休みを費さう事になつて、非常に待ち遠しいほ
し、今日が二日目にたのに、もう今夜あたり、米ク飯が物凄く
喰べたくなっています。それに、牛紙などつぎまつぱうだらうかう
ぬり頂、ほか毎日牛紙を書きさうならぬ、殊んど毎日り
トうに書きりますが、一日で5枚以上、それほど大きな忙せ
うじとしたような氣持ができます。余り自慢はせらうが、次
にそり牛紙を發着の数を書いて見ますか、どうぞ笑って下
給え、シヤトル到着です。今日まであります……

発送一左エクオ。
受取つたもの

三十三通

なんと、唐の数で一通、これで見れば一日一通以上割合
書かざる事になりナリ。最初は廿六日(平均)、牛紙
用紙は二枚も三枚程度になると想ひます。一通で、零
す。船の中、小山石の同じ部屋に居りますが、外へ出ること
思ひ出でられず、あり人日、日々に滞在時は、毎日、故國、
本国の親に、なんに云つたと云事で、左ね、そのへり心境が
今づくと判ります。

先立つ。大附の家クリオナ、小包を送つたとります。僕が使用して居ります。レインコートを預込んでおけ。さう申す。妹トリウ雑誌(文芸春秋)二冊入れたとの事で、非常に大きめな一通です。僕が読んだ後、失禮です。入用なればそちらにお送りしてもよろしく。雑誌は勿論のこと。ちがひ、日本クリム物クリオ(氣分的)に上等くようには見えません。僕は本誌の勉強にあつてはあります。本業などやり。故ヨリ社会状勢を知りがつし、たまには雑誌樂誌(手元の一冊)で読む事です。社会状勢などは英語で書類を通じて知ることもあますまいが、それには相当の日数を要します。まあ日を回帰して、ゆっくりと読むこととする。……

先日親申出た手紙返事は、三年は絶対に帰つてまないようとにかく事が重うござりまへた。非常には力強く感じた反面、もう淋いのうな気もします。全く、落胆の多さ、涙の少しさです。財團科の方。やはり相手次第で、現在では、駄目になりました。滑り落ちて、頭の方に上つたら……。

新里快運勤とは、僕も知らなか。自分で考へると、どうによいは、里法の簡素化つまり能率の事を云ふ。どうではないかと思ひます。文芸春秋で記れば判つてくだらうと思ひます。

夕べは十一時床に入つたが、三時半に目が覚めりとふね、眼がちやぶる。今のは少し渋めですが、奥今十時です。此の辺アドバイスは、希望。読みにくいでよろしく。カニヤンツ下さ。ス回を重ねて、お腹でも、読み下せんば幸です。では、あやすみ。

一日の間

味

ササシス